

切実な 県民の要求実現に全力!

高瀬菜穂子の
小倉南区
一般質問

教育の中立性を守れ! 教育委員選任問題を 高瀬議員が質す!

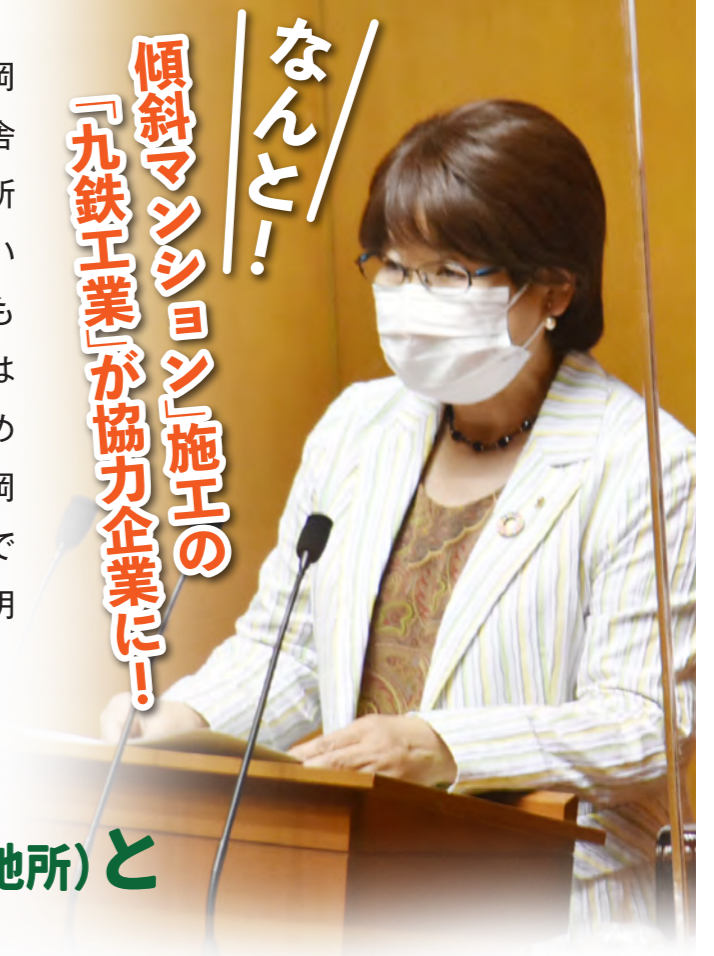
現職県議が辞職し、その後、知事が教育委員として選任。「教育の中立性に疑義」とマスコミでも大問題に。教育行政は特定の政治勢力の影響を受けず、中立を保たなければならないとされています。批判を受け、元県議は辞任しましたが、この度の教育委員選任における一連の経緯は、教育行政と首長、政治との関係に疑念を持たせるものであり、このような人事を繰り返してはならないと、高瀬県議は、知事と教育長を厳しく追及。しかし、知事も教育長も「法に抵触しない」「教育委員にふさわしい」と強弁しました。



博多駅前の一等地を、借地期間70年で、JR九州、福岡地所株式会社、(株)麻生の3社が活用する「福岡東総合庁舎敷地有効活用事業」。借地料は年間2億円。博多県税事務所がこのビルに入り、約1億2000万円の賃借料を県が払います。県民の財産を、民間の利益に貢献する形で70年にもわたって契約をする活用は見直すべきとの追及に、知事は「今後も、民間活力を活用した県有財産の有効活用に努めてまいります」と答弁。協力企業に加わった「九鉄工業」が福岡市東区の「傾斜マンション」を施工したJR九州の子会社である点についても、「要件を満たしている」とまともな説明をしませんでした。

傾斜マンションの
「九鉄工業」が協力企業に!

なんと!



博多駅前の県所有地 JV 3社(JR九州・(株)麻生・福岡地所)と 70年間借地契約

3回にわたり、新知事に緊急要望

コロナ感染が収まらない中、専用病床確保、安全迅速なワクチン接種、PCR検査等の拡充、協力金の迅速な支給などを求め、団として新知事に3回にわたり緊急要望。また、地方議員団、福商連、福建労、新婦人の皆さんとも要請行動を行いました。その中で、議会で何度も是正を求めてきた重点医療機関の県独自の指定要件(10床以上のルール)を見直したことが明らかになりました。 **大曲副知事に要望**▶

4回の補正予算案に賛成

6月議会では4回の補正予算が提案され、補正予算の総額は一般会計で1330億円余。補正予算は、ワクチン接種や協力金などコロナ対策であるため、賛成しました。



みなさまのご意見、ご要望をお聞かせください
6月定例会の論戦の詳細についてはホームページに掲載されています。

<http://www.jcp-fkengidan.jp>

